

事業主の皆様へ

# 「仕事と治療の両立」にご理解・ご協力を！

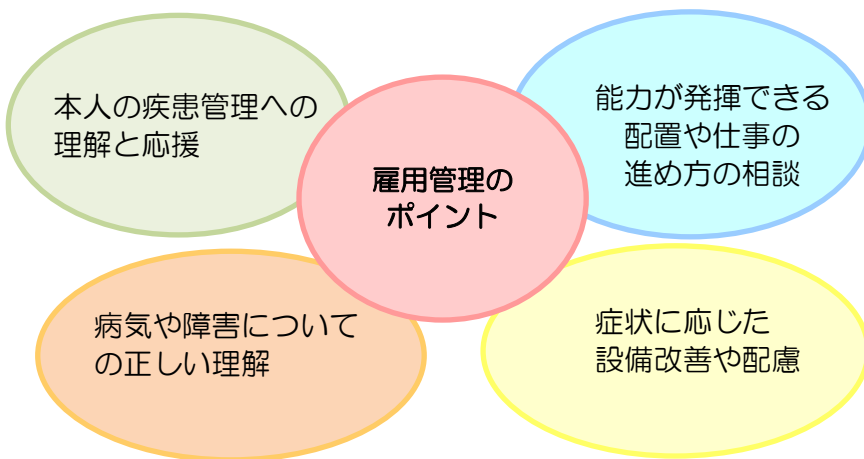
## 【難病患者】

難治性疾患であっても、日常の自己管理や服薬・通院等続けながら普通の生活を送れるようになった人たちが急速に増加しています。

## 【がん・肝炎・糖尿病などの長期療養者】

がん患者の5年後の生存率が50%を超える中、がん・肝炎・糖尿病等の疾病があっても「働くことが可能で働く意欲のある人」に対する支援が社会的課題となっています。

職場での配慮があれば、より多くの人たちが働ける可能性があります



「仕事と治療」が両立しやすい求人の提出をお願いします。

例えば…

- 残業が少ない求人
- 勤務中に休憩や服薬が取りやすい求人
- 通院等が可能な休日・休暇設定のある求人
- 軽作業など身体への負担が少ない業務内容の求人
- 勤務時間等の労働条件を柔軟に設定することが可能な求人





## 難病 (難治性疾患) とは・・・

難病って？

- 「難病」という言葉は法的・医学的に明確に定義されたものではなく、社会通念上の通称に過ぎません。
- 国では、「症例数が少なく原因が不明のため完治が難しい」130の難治性疾患を指定し原因の究明・治療法の確立に向けた研究を行っています。
- 今では、医療の進歩により、完治は難しいものの、適切な治療や体調管理を続けられれば普通に生活できる疾患も多くなってきています。

どんな病気があるの？

- 潰瘍性大腸炎（消化器機能障害等）
- クローン病（消化器機能障害と全身のスタミナ不足等）
- ベーチェット病（眼症状や皮膚炎等）
- 多発性硬化症（全身のスタミナ不足、視覚機能障害等）
- サルコイドーシス（目のかすみ、せき、皮膚発疹等）
- 全身性エリテマトーデス（疲れやすさ、関節炎等） などがああります。
- 病気や個人によって症状は様々ですが、「難病」というイメージにとらわれ誤った先入観を持ってしまわないことが大切です。

治らないの？

- 病気自体が完治することはあまりありませんが、例えば、糖尿病や高血圧など持病を持つ方と同様に、日常生活が正常とされるレベルに回復している人も少なくなく、定期健診や自己管理の継続に加えて、職場の配慮があれば問題なく働ける方がたくさんいます。
- ハローワークでは専門相談員による職業相談や「難治性疾患患者雇用開発助成金」による事業主への賃金助成などにより就職支援に取り組んでいます。

